

第8回広陵町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：平成27年2月9日（月）14：00～15：15

場 所：広陵町役場3階大会議室

出席者：山村会長、青木委員、巽委員、東委員、山本委員（代理：伊藤様）、村上委員（代理：曾田様）、大庭委員、大西委員、森本委員（代理：本間様）、西本委員、川邊委員（代理：米田様）、吾妻委員、吉崎委員、島田委員、古田委員、奥谷委員

1 開会

2 会長あいさつ

過日の協議会でもう一度ネットワーク案を考えてみたいということで、本日、案を考えてきています。本日は、ご検討をよろしくお願いいたします。

3 議題

(1) 公共交通ネットワークの検討について

【事務局説明】

【質疑応答】

○委員

タクシーの補助は、一度始めるとやめられなくなるので、十分議論する必要がある。私の家から大和高田駅までは1,700円くらいかかるが、タクシーを利用されている方は、必要性があって利用されているので、必ずしも補助が必要ではないと思う。

○会長

C-2案とC-3修正案を比較していただければと思う。赤の幹線路線は、1日何便程度往復するのか、想定を教えてほしい。

○事務局

1時間半に1本と考えている。夕方6時過ぎまでで8便程度になる。昼の時間を休憩にするかどうかもあるので、次年度検討していただきたいと思っている。C-3修正案の支線は6便程度。時刻の調整も図りながら決めていきたい。

○事務局

C-3案は、役場と駅の間には公共交通がないというなかで、役場を拠点とし、強化する考えとしています。このため、幹線と支線の2本で運行している。赤の

幹線は、大き目のバス車両で太い幹線としたい。C-3案は、このような考え方です。

○委員

考え方の視点をどこにもっていくかによる。役場をターミナル的な要素にして、C-3案だと運行本数が密になるので、これでいくのが良い。タクシー券の配布は今後の課題としてはどうか。公共交通は全てに対応できないので、妥協の産物になる。C-3案が良いと思う。

○会長

役場～大和高田駅間は14便あると考えると良いですね。

○事務局

14から15便になる。

○会長

西部支線からも大和高田駅へ便利になりますね。

○事務局

西校区なら路線バスを使うのが便利。役場で元気号を乗り継いで大和高田駅までいくこともできることになる。

○会長

竹取公園東線から元気号に利用する人もいるということになる。

○事務局

竹取公園東線は、大和高田駅へ通勤で利用されている方、町内の企業に勤めている方の利用が多い。

○会長

竹取公園東線の奈良交通の客が元気号に回ってこないかということがあがるが、奈良交通さんとしてはどうか。

○委員

元気号は所要時間がかかるので、大きな影響はないと思う。

○事務局

奈良交通の利用者は、朝早く及び夕方が多いので、元気号の運行で影響はないと思う。

○委員

赤の幹線のポンチョ号は、白ナンバーになるのか。

○事務局

広陵町で購入する方法もあるし、事業者への委託もありうる。費用も含めて次年度検討したい。

○委員

そうすると、次年度、バス運行の手続きが必要であり、調整も必要になる。

○委員

幹線は国保中央病院まで運行することになっているが、田原本方面への乗継も検討されているのか。C-2案は北東部方面から大和高田駅へ行くのに、幹線は1時間半に1便ということだが、どれくらいの便での接続になるのか。1日あたり3回から4回程度ではないかと思うがどうか。

○事務局

国保中央病院から先は、現状では検討していない。現状では、電車を利用して田原本へ行く人が多い。支線は役場を毎時00分としても、幹線が1時間に1本を組めないで、乗継が必要になるが、支線の6便くらいはあまり待たないで乗継できるのではと思う。

○会長

C-2案とC-3修正案のどちらが良いか、ご意見をうかがいたい。C-3修正案で決定ということによろしいでしょうか。C-2案が良いというご意見がないので、C-3案でいくことにさせていただきます。

○事務局

中和幹線の深夜バスについて、説明させてもらいたい。

○会長

その前に、タクシー補助券について検討したい。導入にあたっては慎重に、という意見もいただいている。できるだけ限定した方法でやっていくとすれば、高齢者、子育て世代の範囲が考えられます。そのような方をどう応援してくのか。行き先は町内のみか、どこへでもいけるようにするのか。ご意見をいただきたい。

○委員

C-3修正版で公共交通空白地域があるのかどうか。利用したいが利用できない

エリアがあるのかどうか。全国的に交通空白地域については、タクシー補助券をやっている例がある。長野の場合、基本料金を越えた部分を負担している。広陵町は、町内にとどめようと考えているが、その裏づけがほしい。動きたい人を対象にするなら、その辺も含めて検討していただけたらと思う。

○会長

本日決めることはできないので、本日はいろいろな意見をもらいたい。

○委員

C-3修正案を実施して、その状況をみてから、要望があるときに考えたらどうか。

○会長

C-3修正案で空白地はどうなるのか、ほとんど対応しているが、ところどころに利用の不便な地域がでてくるが、その地域だけ配布するのは難しい。このことについては、十部議論して進めていきたい。

本日の案件については、以上で終了させていただき、事務局からさきほどのことを説明してほしい。

○事務局

深夜急行バスの運行について、要望書を提出している。梅田から難波を經由して近鉄五位堂、高田、桜井と聞いている。エコールマミの前なども止まる。深夜に帰る交通手段ができることになる。

梅田12時くらいの発になる。現在、生駒から奈良方面は運行されているが、好評ということでこちらの方面も運行する。

○委員

夜12時半から1時の出発になる。奈良方面便は、金曜便は満席。平均で15から20名の乗車。手続きもあって、要望書を御願ひしている状況。

○会長

そのほかになければ、ここで終了としたい。

○事務局

今後の予定ですが、本日の結果を広陵町のネットワーク計画(案)にとけこませて、パブリックコメントを1ヶ月程度行いたい。その結果修正すべきところがあれば、3月末に本協議会の開催をお願いしたい。

○会長

本日はありがとうございました。